



# 小郷台本 だより

3月

横浜市立本郷台小学校  
令和5年2月28日  
栄区本郷台一丁目6番1号  
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

## 手 応 え

校長 原 南実子

弥生3月。6年生はあと13日で卒業を迎えます。1年生から5年生は修了式まで18日となりました。この時期、各クラスを回っていると1年間の成長と子ども達の学びの深まりが見えます。

5年生の教室では、総合で取り組んだ「科学の力はすごいぞイベント」の振り返りを行っていました。自分たちでペットボトルロケットを作り、いかに遠くまで飛ばすことができるか、ということから始まった活動でしたが、発射角度が少し違うだけで飛び方が全然違うなど、謎を追いかけ、科学の知識をゲストティーチャーの三田さんに教わりながら何度もトライしていくうちに、科学の面白さや楽しさに魅了され、みんなが楽しめるペットボトルロケットを作ろう、という活動に展開していきました。地域の方やお世話になった方々を招いて行ったイベントは大成功。その振り返りでこんな言葉が語られました。「大人は子どもみたいに楽しんでくれないかなと心配していたけど、大人も心から楽しめるものがあるってわかりました。子どもも大人も同じ楽しさを味わうことができるんだと思いました。」この実感のこもった言葉は何を物語っているか、担任と一緒に考えてみました。おそらく、大人と子どもは別、という今までの認識が覆ったのだと思います。共感する楽しさを手応えとしてつかんだ子ども達は、いい関係をつくるのに年齢は関係ない、年齢関係なくつながることの嬉しさは心揺さぶるほどすごい、という新たな認識をもったのだと思います。これは、人とのつながりの捉え方の幅を広げ、人間性を見つめる深い学びを得た言葉なのではないか、そう思いました。

ケアプラザに自分たちの葉っぱ切り絵の作品を展示させてもらった4年生に、展示を見た方からたくさん感想が届きました。ここでも年齢を超えた心のつながりが見えました。「80代です。葉っぱ一枚からこんな素敵なお作品が生まれるなんて！小さな作品から大きな夢をいただきました」「すごく高齢者です。本当に元気をもらって帰ります。ありがとう」「60代です。とても素敵ですね。こんな楽しみ方があるんですね。家でさみしいと言っている人におすそ分けしたいのでお土産のしおりを2ついただきます」「60代です。できた作品を校内だけではなく所に展示してくれて、地域の人に新鮮な気持ちを引き起こしてくれました」自分たちが感動したりトさんという方の葉っぱ切り絵に心を持っていかれた子ども達。その感動を伝えたいと起こした行動が年齢を超えて人の心を揺さぶっていました。感想の言葉に、感動が感動を呼ぶ、という確かな手応えを感じていました。

1年生は生活科『家族にこにこ大作戦』が終盤を迎えていました。どんな時に家族がにこにこになるか一人ひとり考え、家の仕事や自分の事をやってみました。すると、家族がにこにこになると自分も嬉しくなることや、自分が笑顔でいると家族もにこにこになることに気付きました。保護者の方から届いた手紙を読み、泣いている子ども。家族がかけがえのない存在であることを実感する学びの姿がありました。2年生は自分の成長を振り返る学習をしていました。小さい頃に使ったものや写真を見て今の自分と比べてたりエピソードを聞いたりしながら、自分を支えてくれる人の存在に気付くことができました。この気付きは人格形成の根っことなるものです。3年生はまちやまちの人たちとかかわる活動をたくさん行いました。自分が周りの人に元気や温かさを伝えることができること、自分たちはまちに働きかけることができる存在であることをつかんだ3年生です。5678組は、区学習発表会に向けて朗読劇の練習に励んでいました。友達と息を合わせて読むことに、つながって学ぶ楽しさを感じていました。共に学ぶ楽しさを実感している姿でした。24日に行った「葉立ちの会」。自分たちの成長、これからの決意、これまでの感謝を「自分の言葉で」堂々と伝えた6年生、見事でした。

人とかかわり、探究心を働かせながら仲間と学び合ってきた子ども達は「学びの手応え」を感じています。1年間の学びと成長に拍手を贈りたいと思います。子ども達を見守り、応援し、支えていただいた保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。